



すくすく



附属小学校
生活部だより第8号
令和4年12月23日

楽しく安全な冬休みを送るために！

12月もあっという間に過ぎ、もう冬休みです。松山市でも寒さが本格的になってきました。毎朝、毎晩とても寒くなってきましたので、日中のお日さまの暖かさがありがたく感じられます。

さて、1年の中で一番長い2学期も終わりを迎えます。新型コロナウイルス感染症対策として2学期も様々な制限のある学校生活ではありました。しかし、このような中でも子どもたちの前向きで元気な声が聞こえてきたり、ひとつのことに夢中になって一生懸命取り組む姿がたくさん見られたりした2学期でした。

さあ、冬休みを心待ちにしている子どもたちもたくさんいると思います。この時期、元気に過ごしていけるように体調の変化に気を付けていきたいものです。冬休みを楽しく過ごすためにもご家庭でも以下のことを意識しながら、見届けをお願いいたします。

家族でのふれあいの時間を大切に

冬休みはいつもよりも家族と過ごす時間が多くなると思います。これを一つのチャンス、生活を見直す機会と考え、どうぞお父さんとじっくり向き合い、話に耳を傾けると、今までと違った我が子、あるいは成長した我が子の姿の発見があるかもしれません。

日本の伝統文化を大切に

年末年始には、日本古来から伝わるいろいろなしきたりや慣習があります。「年末大掃除」「年越しそば」「除夜の鐘」「餅入り雑煮」「お年玉」「初詣」「おとそ・御神酒」「鏡餅」「門松」「注連縄(しめなわ)」「おせち料理」……。それぞれのしきたりや慣習について、その意味などをお父さんと話したり、実行したりしてみてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策を

「ウィズコロナ」と言われるようになり、行動制限が昨年比べて緩和されています。外出したり、旅行に出かけたり、普段なかなか会えない親戚の方と再会したりする機会も多くなるかと思えます。ぜひ、楽しい思い出を作ってください。その際には感染症対策を十分とっていただき、元気で健康な年末年始を過ごしてほしいと思います。

今年度の冬休みは12月24日(土)から1月9日(月)の17日間です。学校から配付している「冬休みのくらしについて」を親子でご確認いただき、安全で楽しい冬休みにしてください。

3学期の始業式で元気な子どもたちと再会できることを楽しみにしています。(生活部長 玉井 淳博)

クラブで「つながる」附属っ子

附属小学校では、月に1・2回程度、クラブ活動を行っています。4・5・6年生の異年齢集団で構成され、技能の習得だけに偏ることなく、共通の趣味や関心を追求する活動を行っています。子どもたちにクラブの希望調査を行い、今年度は、以下の18のクラブで活動を行うこととなりました。

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|------------|
| ①手芸 | ②室内カードゲーム | ③科学・発明 | ④日本文化 | ⑤アウトドア・生き物 |
| ⑥図工 | ⑦算数オリンピック | ⑧音楽 | ⑨パソコン | ⑩漫画・イラスト |
| ⑪バドミントン | ⑫バスケットボール | ⑬バレーボール | ⑭ドッジボール | |
| ⑮野球 | ⑯卓球 | ⑰テニス | ⑱ミニサッカー | |

1学期からどのクラブでも、活動に熱中する子どもたちの姿がよく見られました。体育館や運動場では、子どもたちのナイスプレーと喜びを爆発させる笑顔と笑い声が溢れていました。屋内のクラブでは、日常生活を作る技術や科学に目を輝かせたり、学問や芸術の世界にどっぷり浸かったりする子どもたちの姿がありました。どのクラブにおいても、子どもたちが主体的にかかわり合いながら、趣味の世界を味わっていました。

今年度のクラブ活動は12月で終了しましたが、来年度も子どもたちの「つながり」を大切にして活動していきたいと思えます。(生活部 河野 幹大)

クラスカラー全開！（2年部）

「図画工作科」と「ぎんなん学習」が2年生の子どもたちが好きな教科ランキングの同率第1位だという噂があります（あくまで噂です）。ただ、この噂にはちゃんとした根拠があります。それは、図工もぎんなんも、2年部の各担任の研究教科だということです。それは、教室に一歩足を踏み入るとすぐに分かります。

2年月組には、子どものアートな作品が所狭しと並んでいます。その景色は、まさに美術館そのものと言っても過言ではありません。2月ちびっこ芸術家たちは、今日も創作活動に勤めます。2年花組には、4月からの歩みが事細かに記されています。これを見ると、2花のあんなことやこんなことがすべて分かる！山あり谷ありのクラスルームヒストリー。2花の歴史は話合い活動の歴史です。2年星組には、よく分からない？段ボールがたくさん散らかっていますが、これは、子どもの「伝えたい」という思いや願いを実現するための表現活動の産物。決してゴミではありません。

それぞれのクラスカラーの中で、2年生はのびのびと学校生活を送っています。（2年部 高市 淳史）



わくわくコンサート♪

12月6日(火)さくさくと落ち葉を踏む足もとに、冬の気配が感じられるこの日、今年を締めくくる「わくわくコンサート」が行われました。

音楽クラブのトーンチャイムアンサンブルで幕が開いたコンサート。“初めてのクラス合唱に挑戦！”響きのある歌声を目指し、仲間と切磋琢磨してきた4年生。“響け！私たちのハーモニー！”自分たちの想いを歌声やリズムにのせて聴く人に伝わるように表現の工夫を続けた5年生。“音楽でみんなの心に燎を”仲間とともに自分たちの表現に磨きをかけ、「音」を「楽」しむを体現してくれた6年生。そして、わくわくコンサートの締めを飾った6年生の学年合唱。最後のコンサートに賭ける6年生一人一人の想いが燃え上がり、大きな大きな炎となって附属っ子みんなの心をあたたく包み込んでくれるような歌声に感動しました。一人一人が真剣に音楽をしている表情や立ち姿が本当にかっこよかったです。

後日の振り返りカードには、「一人の力では達成できないことも、みんなが協力してがんばれば達成できると気が付きました。みんなと演奏できて幸せでした！」「大勢の人前で歌うのはすごく緊張したけれど、終わったあとはみんなで歌えてよかったー！！って気持ちでいっぱいでした」「全力チャレンジ大成功！！」など、それぞれが自分の成長を見詰められている言葉があふれていました。クラスが一丸となって一生懸命取り組んだこと、それぞれの想いを持って本番のステージに立ったことを、これからの活動や生活にしっかり生かしてほしいと思います。

最後になりましたが、コンサート運営をあたたく支えてくださった皆様、そしてお忙しい中ご参観いただき、感染症対策にご理解・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

(音楽部 松本 一菜)



相談室より

今年も早いもので、残りあとわずかになりました。先日のわくわくコンサートでは、一生懸命な児童の皆さんの姿に、励まされるような気持ちになりました。行事が盛りだくさんの2学期も終わり、児童の皆さんはホッとする頃でしょうか。一方で、保護者の皆さまは、大変忙しい時期だと思います。そんな時こそ、ぜひご自身を労っていただけたらと思います。

今月は、本を1冊ご紹介いたします。

「イラスト版子どものレジリエンス-元気・しなやか・へこたれない心を育てる56のワーク」(合同出版 上島博著)

衝撃的な出来事があった時や日々の生活の中で失敗をした時など、お子さまに限らず、大人でも、もう立ち直れないと思うこともあると思います。しかし、人は少しずつ回復し、立ち直っていく力があります。その力を「レジリエンス」と言います。この本には、レジリエンスを育てるワークが多く掲載されております。イラストも多く文章もやさしいので、お子さまでも興味を持ちやすく、おすすめです。

(スクールカウンセラー 福井 亜衣)

1月の相談日

17日(火)、 24日(火)、 31日(火)

13:00~17:00

予約専用電話 090-9451-9693